

熊本大学大学院法曹養成研究科
平成26年度第2期募集 法律科目試験問題

商 法

平成25年10月26日(土) 14:20~15:05

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして下さい。解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【問題】以下の事例を読み、設問に答えよ。(配点：40点)

A株式会社はあるとき定時株主総会を開催した。同社の株主Bは、あらかじめ提出していた質問状に沿って、①A社の業績がここ数年低下し続けている原因についての説明を求め、②社長・専務以下の業務執行取締役は自ら辞任すべきだと思うが、その予定はあるかと質問した。議長であるA社代表取締役Cは、答弁担当の専務取締役Dを指名した。Dは、①については、事業報告書で詳細に分析してあるのでそちらを参照されたいと述べ、②については、各取締役の個人的な問題については回答できないと述べた。Bは同じ質問を繰り返したが、Dはこれ以上の回答をしなかった。Bは再三挙手したが、Cは質疑応答の終了と採決に入る旨を宣言した。Bは立ち上がりながら「議長の交代を要求する、緊急動議だ」と数回叫んだ。するとCは「他の株主様の迷惑になりますので」として、Bに退場を求めた。Bは抵抗したが、Cは会場の警備担当者に命じ、丁寧にBを退場させた。

その後、Cは、計算書類の承認および取締役の再任について順次採決を行い、いずれも可決された。

設問 Bは、本件定時総会決議の効力を否定したいと考えている。Bはいかなる方法を探りうるか。また、Bがその方法を実行に移したとして、この決議は失効するか。

以上